

総務建設常任委員会

- 委員長 藤野 莞嗣
- 副委員長 脇田 義政
- 委員 小林 征男
- 委員 藤木 匠
- 委員 黒川 悟
- 委員 鳴海 圭矢
- 委員 時任 裕史

まちづくり課

アビスパ福岡 「宇美町応援デー」

昨年引き続き平成28年9月25日、アビスパ福岡対ヴィッセル神戸戦において「宇美町応援デー」を実施。

木原町長が挨拶をし、宇美町観光PRビデオを放映した。

ふるさと宇美町応援寄附金

寄附受付サイトを見やすくリニューアルした。インターネットでの申し込みができ、クレジット、コン

ビニ決済も導入している。

返礼品を従来のポストカードから米、肉をはじめ、和菓子、工芸品など73品に拡充した。

リニューアル前のアクセス数が毎月約200〜500件であったが、10月は1,200件になっている。

Q 人気の返礼品は。

A アビスパ福岡のレプリカユニフォームも出るなど、多岐にわたるが今は肉が多い。

Q 平成27年度の寄附金の内訳は。

A 64件で、170万円。個人で50万円が2名、業者で10万円が3社など。



ふくおか町村フェア

まちの活性化を目的に特産品の販売、商工観光PRを行うイベントが平成28年10月22日から2日間にわたり天神中央公園で実施された。宇美町においても商工会の会員事業所から出展した。

財産活用課

企業誘致、住宅団地開発

町税収の増加、雇用や地元業者の受注機会の確保、人口の増加等を図るため、企業等の誘致に関する施策を講ずる研究を進めている。

雇用の確保や道路等の整備状況から現在、糟屋地区が注目を集めているが、地区内で優遇制度を導入している市町はない。

当町は、土地利用の融通性は高く、価格は安いが誘致に適した町有地がない等が現状である。

Q 最近、大型店舗等の出店が相次いでいるが。

A 町の方から具体的な働きかけは行っていない。

農林振興課

薬草栽培による農業所得向上及び地域活性化対策

平成28年4月に三省製薬と

提携を結び、平成28年7月から、化粧品材料となる4種類の薬用植物、アピオス、スイカズラ、ドクダミ、ローズマリーの試験栽培に着手し、平成29年度からの納入予定である。

さらに、中山間地域の休耕田を利用し、収入が見込める新たな薬用作物としてミシマサイコ・ヤマトトウキ・ヒユウガトウキなどの試験栽培にも取り組み始めた。

今後は、薬用作物の薬効ブランドを利用した特産品開発も含めた六次産業化を模索し、農地の有効利用促進・所得向上・地域活性化を図りたい。

Q 提携している薬品会社が、販路先になるのか。

A 三省製薬をはじめ、大学の農学部、薬学部、研究所など、幅広く販路先を探していきたい。

厚生文教常任委員会

委員長 飛賀 貴夫
副委員長 犬塚 齊
委員 松下 弘毅
委員 藤木 匠
委員 南里 正秀
委員 古賀ひろ子

福祉課

平成29年度福祉巡回バス
(ハピネス号) 運行業務
見直しの進捗状況

平成28年10月に町内2社の見積入札を実施。
落札業者は、西鉄バス二日市株。
落札金額は、1億8,358万9,340円。
今後は、新たなバス停の設置、新路線の変更等の準備のため、覚書を締結し、平成29年4月から新ルートで運行を開始。
見直し箇所は、原田町常住

宅人口付近停車、ひばりが丘団地内、まつだハートプラザ横から鎌倉区公民館前運行。

環境課

ごみ固形化燃料(RDF)
発電事業

大牟田リサイクル発電事業期間は、平成14年12月～30年3月末を35年3月末まで5年延長。

①発電事業の当初目標は達成されている。
②事業継続では処理委託費が大幅に高騰する。
③参画企業の確保が困難。
以上の理由から福岡県は、大牟田リサイクル発電(株)が事業を継続するのは極めて困難であり、事業を終了せざるを得ないと判断。

子育て支援課

子育て支援センター移設

平成28年12月15日に、ゆう・ふみらぼの移転について広報うみに掲載。

12月28日にファミリー・サポート・センター、ふみらぼの引越を行い、年明けの1月4日から運用開始。

平成29年1月初旬、ゆうゆう改修工事着手、4月1日引越、4月3日運用開始の予定。

新設保育所の進捗状況

井野地区に民営保育所を新設。

法人名は社会福祉法人萌芽の森(仮称めげえ保育園)、住所は宇美町大字井野56012、定員は40名の予定。町としても早い時期の開所を希望している。

社会教育課

図書館利用の促進

平成28年11月1日から新しいサービスとして、貸出でき

る冊数を10冊から15冊に増やし、CD・DVDの貸出期間を4日から7日に延長。

さらに、すべての図書資料のWeb予約が可能となり、利用の促進を図る。

学校教育課

スーパー食育スクール事業

文部科学省から指定を受け、宇美小学校を実践校として、「食と健康」をテーマに福岡女子大学や関係機関と連携して取り組んでいる。

親子対象(希望者)の健康診査結果を活用した保健指導・相談、講演会、弁当の日などを実施。

また、大塚製薬(株)と宇美町が共同で食育啓発用マグネットシートを作成、各家庭に配布。

平成29年1月には宇美小学校で実践発表を行う予定。



福岡女子大学教授による「食と健康」の講演



児童から募集した標語「よく食べて、みんなであつこう じょうぶなからだ」